

11月～2月活動報告講評

地区ローターアクト委員長 柳 孝一

3月末地区広報の齋藤さんから講評を依頼受け、今年度2回目の報告書の講評を書いています。でももう4月初旬で、布施代年度も3ヶ月を残すだけになりました。この3ヶ月間地区大会に向け、各クラブは、会員増強も含め、計画を立てたプログラム・活動がちゃんとできているか、確認をしながら例会運営を進めてください。

11月から2月間、それぞれクラブは年末の提唱ロータリークラブのプログラムに参加したクラブが多いと思いますが、ロータリーの例会やプログラムに参加することは、アクトを理解してもらうチャンスです。有効に使ってください。

地区委員会でも地区内ロータリアンへアクトの理解を深めてもらうよう、ガバナ一月信にアクトクラブ活動の様子を、かなりの頻度で掲載をお願いしています。地区内委員会で一番の掲載量だと思います。その内容は、

- 7月 年度初めの活動計画(柳)
- 9月 新世代月間に向けて「ローターアクトクラブの現況」(柳)
- 12月 第36回ローターアクト地区協議会(畠井実行委員長)
- 12月 ローターアクト自転車リレー報告(蝦名)
- 2月 北海道交流会報告(布施地区代表)
- 3月 ローターアクトクラブは必要か(柳)
- 4月 第21回全国ローターアクト研修会の報告(安藤地区代表ノミニー)

以上掲載した文章です。興味のある方は、2510地区ホームページ中にありますのでご覧ください。

今後もアクトの活動を理解してもらうため掲載をお願いする予定です。私からクラブの皆様に原稿をお願いする機会があると思いますので、その際はよろしくお願ひいたします。

講評にはほど遠い、文章になってしまった。次回機会があれば、ちゃんと講評したいと思います。

1月～2月活動報告講評

地区ローターアクト代表 布施年啓

年末年始は、RCとの合同忘年会や新年会をしているクラブが多くありました。年の終わりそして、年の始まりの交流というのはとても大事ですね。1年間何をやってきたかまた、今後1年間どうするかなど助言をいただいたクラブも多々あると思います。RCとRACは親子関係ですから、交流していないクラブは今後積極的に交流し、親睦を深めては如何でしょうか。

今回、室蘭北RACの自己啓発例会で、幹事の通う大学で行われている研究をPPT(パワーポイント)を用いて発表したとなっていました。内容は難しかったかもしれません、各クラブ会員の専門分野を例会の場で勉強することはとてもいいことですね。大学生・看護師・保育士・銀行員・弁護士その他、色々な職種がせっかく集まっているので例会に取り入れどんどん勉強していきましょう。

函館大学RACは、地元の冬季イベントのボランティアスタッフをして3年目ということですが継続するということは大変です、しかし、苦労とともに信頼や実績が身についていきますので、今後も10年20年継続できるように頑張ってくださいね。

さて、残すところ今年度もわずかとなりましたが、一人ひとりが充実した1年間を送れたと後から振り返った時に思えるよう頑張りましょう！